

## フレキシブルフェース

完成品

## SRS-130LED

## 開閉式

## 取扱い・施工説明書

このたびは、当社の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

- この説明書は、専門の施工従事者を対象としています。
- 正しく安全に取り付けていただき、また安心してご使用いただくために、この説明書をご熟読の上、手順に従い施工を、行ってください。
- 注意事項を守らずに施工された場合の故障や事故については、責任を負いかねますので、よくご理解の上施工管理をお願いします。
- この説明書は、安全維持とメンテナンスのために必要です。大切に保管してください。





## 説明内容

1. 守っていただきたい注意点	1
2. 各部の名称	2
3. 看板の取り付け	3
3.1 本体枠と開閉枠の分離	3
3.2 本体枠の取り付けと連結	4
3.3 アンカーボルトの選定	5
3.4 開閉枠の連結と本体枠への取り付け	6
4. 展張	8
4.1 テンションバーの準備	8
4.2 基準線の線引き	8
4.3 仮止め	9
4.4 仮締め	10
4.5 本締め	10
4.6 カット	10
5. 額縁の取り付け	11
6. 結線	12
7. シーリング工事	13
8. メンテナンスについて	13
9. オプション品の使い方	14

※コーナーユニットについては  
H1400 までの対応となっています。

# 1 守っていただきたい注意点

## ■ 警告表示

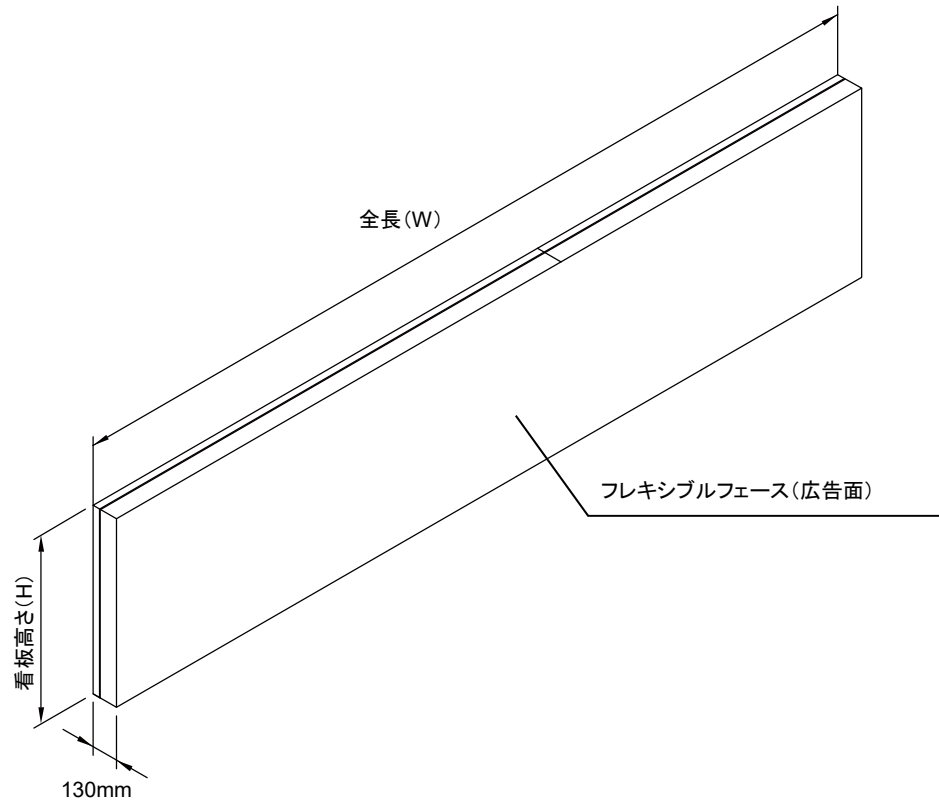
 警告	• 重大な事故を起こす可能性があります。
 注意	• 製品の破損や、ケガをする可能性があります。
 禁止	• 気をつけていただきたい禁止内容です。
 確認	• 気をつけていただきたい注意事項です。

 警告	本製品は、壁面サインです。建物壁面以外での使用はさけてください。
 警告	看板を取り付ける壁面は、取り付けに耐えうるか確認していただき、強固でない場合は、胴縁などの下地を施工してください。(看板の脱落により、事故を起こす原因となります)
 注意	看板上面、両側面の壁面側はシーリングを施し、雨水の浸入により、内部を腐食させないようにしてください。(漏電の原因になる可能性があります。)
 注意	施工の際、連結後の吊り上げはしないでください。 (ジョイント部にすき間が生じたり、フレームの変形の原因となります。)
 注意	看板取り付け位置の上部には、10cm のスペースが必要です。
 注意	一次側電源は回路遮断装置(ブレーカなど)のある電源系統に接続してください。
 禁止	当製品の改造はしないでください。使用条件が異なると安全性の再検討が必要です。
 確認	組み立ての際は、必ず本説明書と同梱の図面をよく読んで行ってください。
 確認	取り付け高さは、地上より看板天端で 8m 以下を守ってください。取り付け高さを越えますと、強風時に、看板、面板への影響が高まり、破損、脱落の原因になります。
 確認	フレキシブルフェースは、ガムテープなどで仮り止めの後、テンションバーにより確実に固定してください。 フレキシブルフェースに、ゆるみ・たるみが生じない様に確認してください。
 確認	テンショニング作業には、インパクトドライバーが必要です。

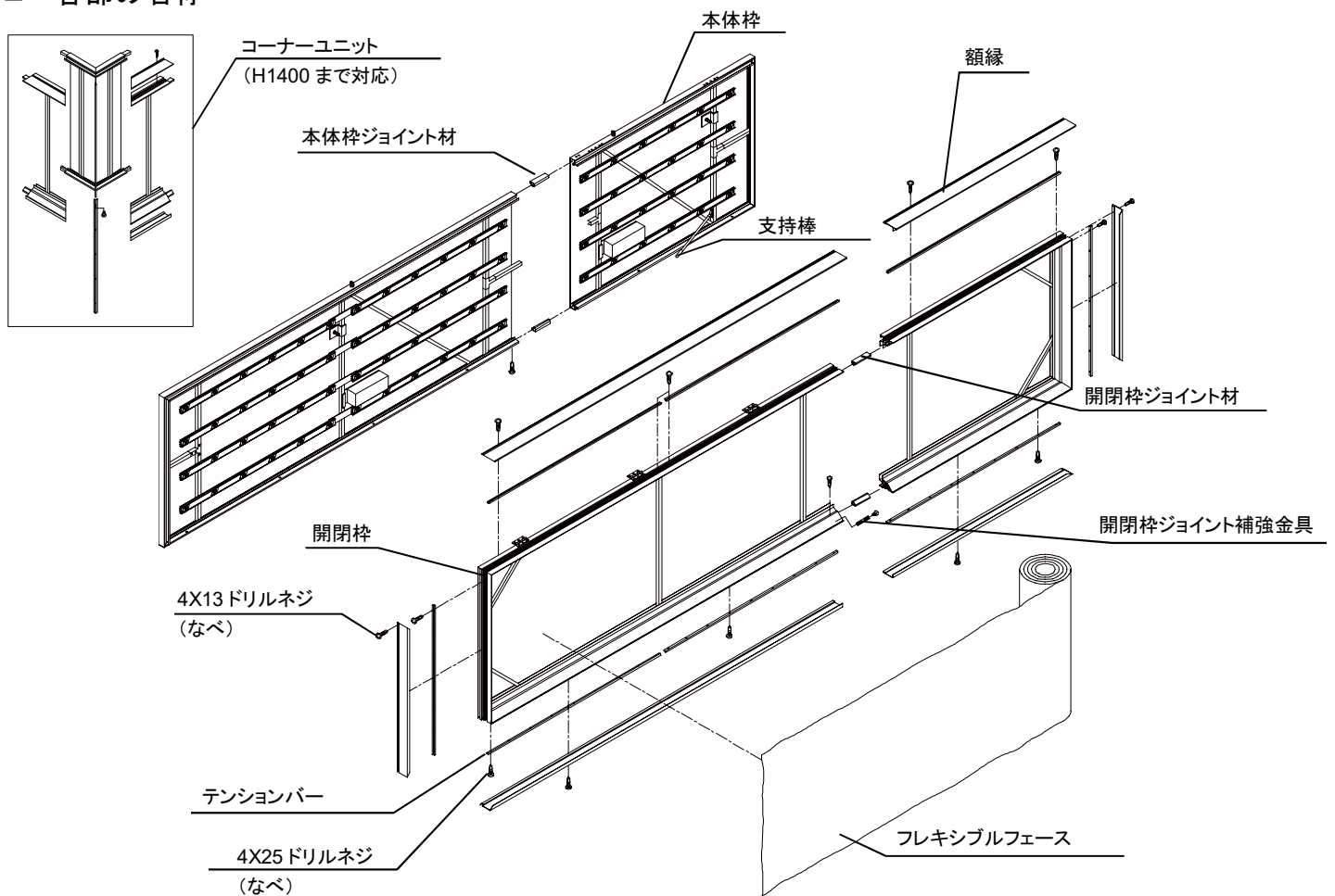
いずれも安全に関する重要な内容です、必ず守ってください。

## 2 各部の名称

### ■ 完了図



### ■ 各部の名称



### 3 看板本体の取り付け

#### 3.1 本体枠と開閉枠の分離

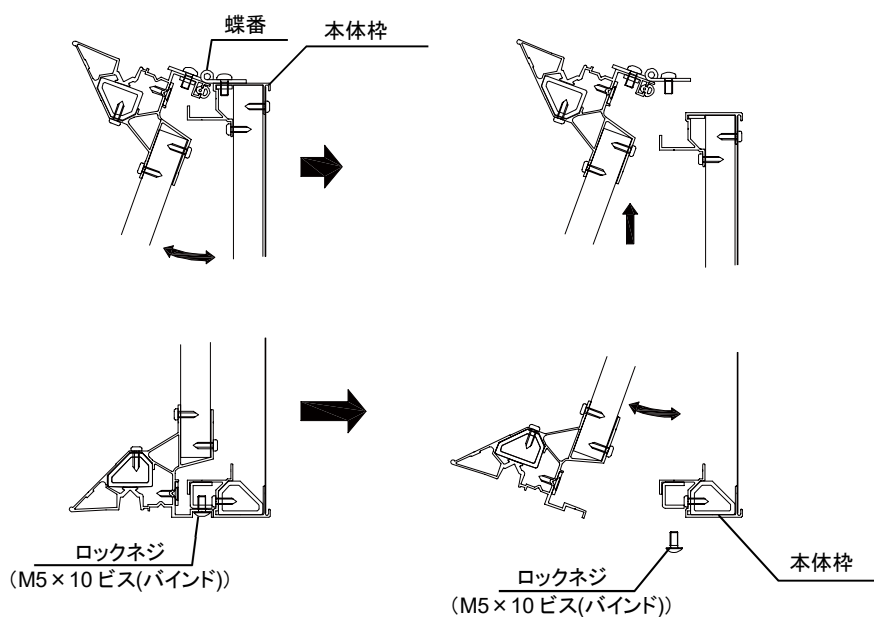
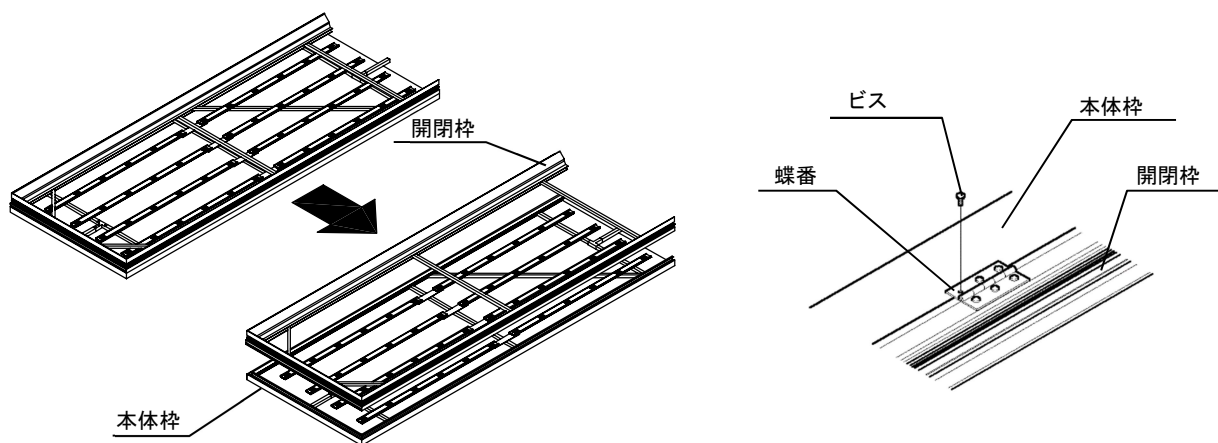


確認

- フレームのサイズによっては、シート貼り込み前であれば、本体枠と開閉枠の分離をせずに壁面に取り付ける事も可能です

##### 1. 本体枠と開閉枠の分離

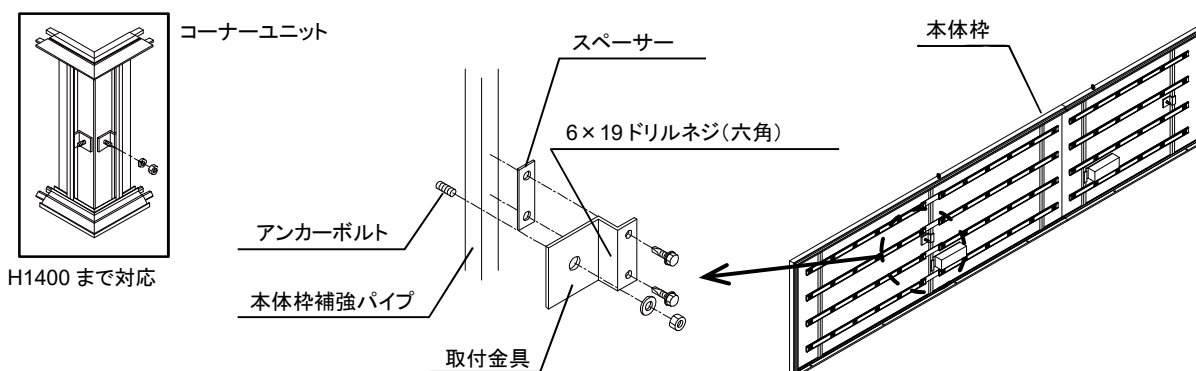
- フレームを本体枠(LED 部)と開閉枠(表示部)に分離します。開閉枠は上面の蝶番と側面および下面のロックネジ(M5×10ビス(バインド))で固定されています。  
本体枠側の蝶番を固定しているビスおよびロックネジ(M5×10ビス(バインド))をゆるめ、開閉枠を少し開閉させ、フレームを上部方向に少しずらせると分離できます。



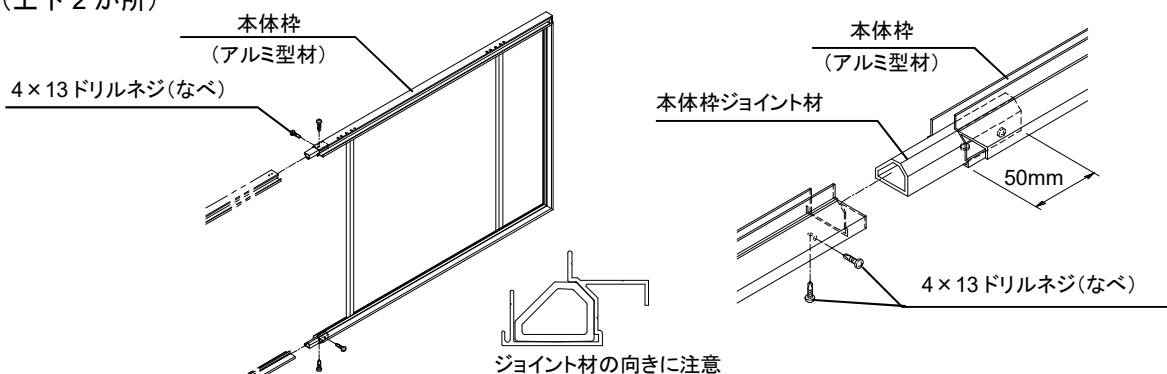
## 3.2 本体枠の取り付けと連結

⚠	<b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体枠の壁面の取り付けは、専用の取付金具を使用し、強固に取り付けてください。</li> </ul>
❗	<b>確認</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連結の際はフレーム同士にすき間ができないように取り付けてください。</li> <li>すき間があると、光漏れ・雨水の浸入が生じ、漏電の原因になります。</li> <li>取付金具固定の際、LED の下地パネルと重なる箇所は切り欠きなどの加工をし、確実に固定してください。</li> </ul>

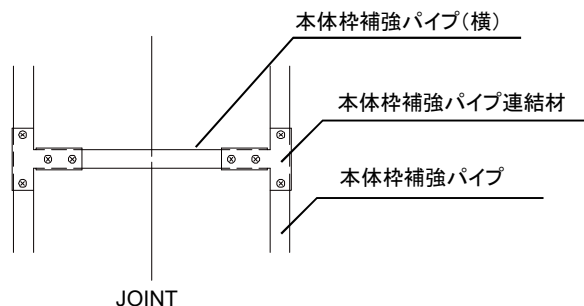
1. 一次側電源位置を確認後、本体枠側面または裏板部に結線用穴の加工をしてください。
2. 本体枠の壁面への取り付け
  - 専用の取付金具を使用して、壁面への取り付けを行います。
  - 本体枠補強パイプと取付金具にすき間がある場合は、付属のスペーサーを使用してください。
  - 基準となる本体枠を取り付けます。先にアンカー位置の 1 か所を墨出しにあわせて仮止めし、水平・垂直を確認してから他のアンカー位置を固定します。
  - コーナーユニットを使用する場合は、コーナーユニットから順次取り付けてください。



3. 本体枠の連結
  - フレームがジョイント式の場合、基準となる本体枠の取り付け完了後、先に本体枠の連結を行ってから、壁面側を取り付けてください。
  - 本体枠ジョイント部に本体枠ジョイント材を 50mm 差し込み、4×13ドリルネジ(なべ)にて取り付けます。(上下 2 か所)



- 指定の位置に本体枠補強パイプ(横)と本体枠補強パイプ連結材を使用し、4X13 ドリルネジにて固定します。(H1400 を超える場合のみ)



### 注意

- 光漏れの原因となるため、フレームのズレ・空きに注意してください。



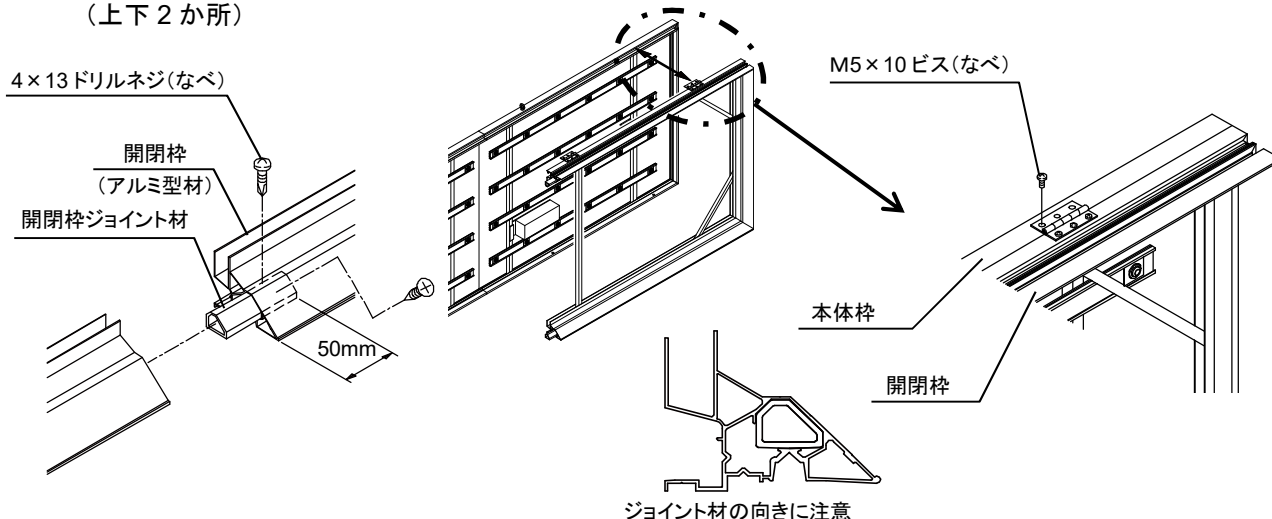
### 3.4 開閉枠の連結と本体枠への取り付け

<p>❗ 確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開閉枠のロックネジ(M5×10ビス(パインド))は+ドライバーで、しっかりと確実に締めてください。 締め付けが弱いと、強風時に開閉枠が開く場合があります。</li> </ul>
<p>❗ 確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開閉枠と本体枠は、蝶番とロックネジ(M5×10ビス(パインド))でしっかりとはめあわせてください。 はめ合わせが悪いと、開閉枠の落下や雨漏り・漏電の原因となります。</li> </ul>
<p>⚠ 注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジョイント突き合わせ部に、すき間・ズレがあると、フレキシブルフェースの破損、光漏れなどの原因となります。</li> </ul>

#### 作業手順

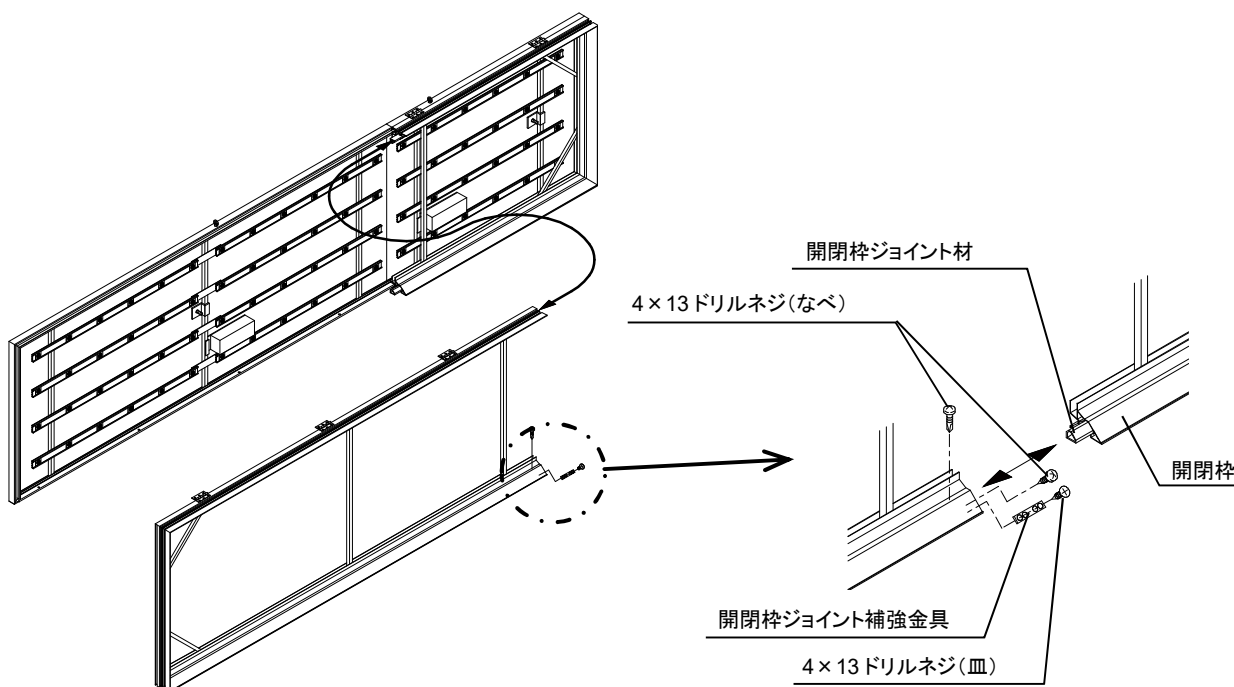
##### 1. 本体枠への取り付け

- 壁面に取り付けた本体枠に対となる開閉枠をセットします、開閉枠側に取り付けられている蝶番の位置を合らし、M5×10(なべ)で固定します。
- 開閉枠ジョイント部に開閉枠ジョイント材を 50mm 差し込み、4×13 ドリルネジ(なべ)にて取り付けます。(上下2か所)



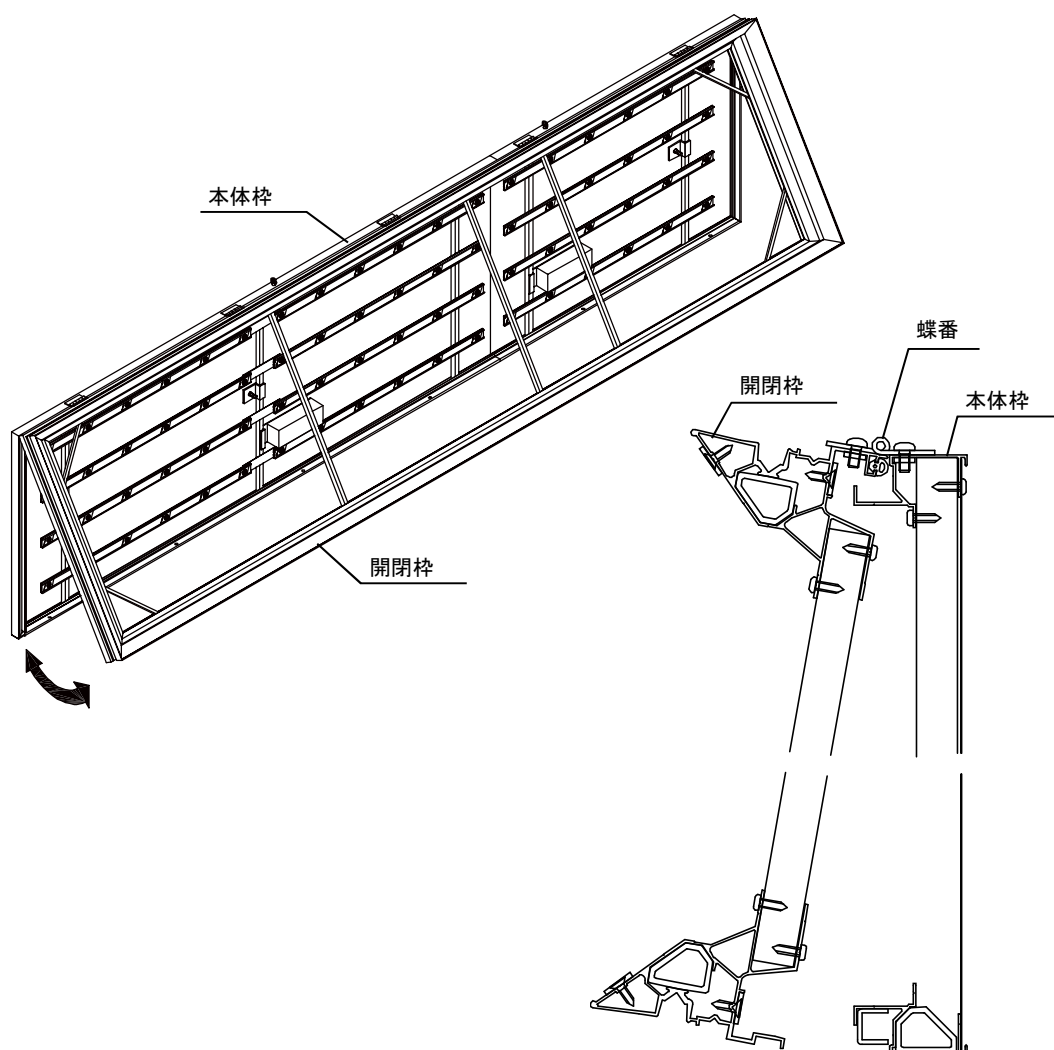
##### 2. 開閉枠の連結

- 開閉枠のねじれや寸法を調整した後に、となりあう開閉枠を開閉枠ジョイント材および、開閉枠ジョイント補強金具で、4×13 ドリルネジを使用して連結します。



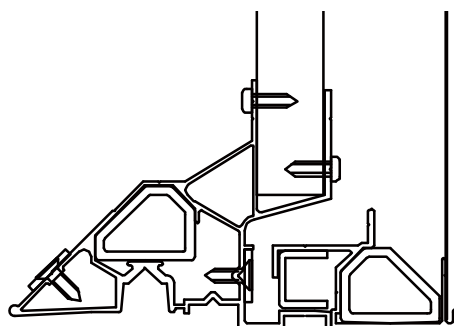
### 3. 開閉の確認

- 開閉枠の取り付け位置を確認し、2～3 回開閉テストを行い、はめ込みが完全かを確認してください。

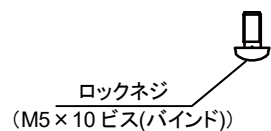


### 4. ロックネジ(M5×10ビス(バインド))の締め付け

- 開閉枠を閉じて、ロックネジ(M5×10ビス(バインド))をしっかりと締め付けてください。



開閉枠 H1400 以下: 下部  
開閉枠 H1400 超: 下部および左右側面





## 4 展張

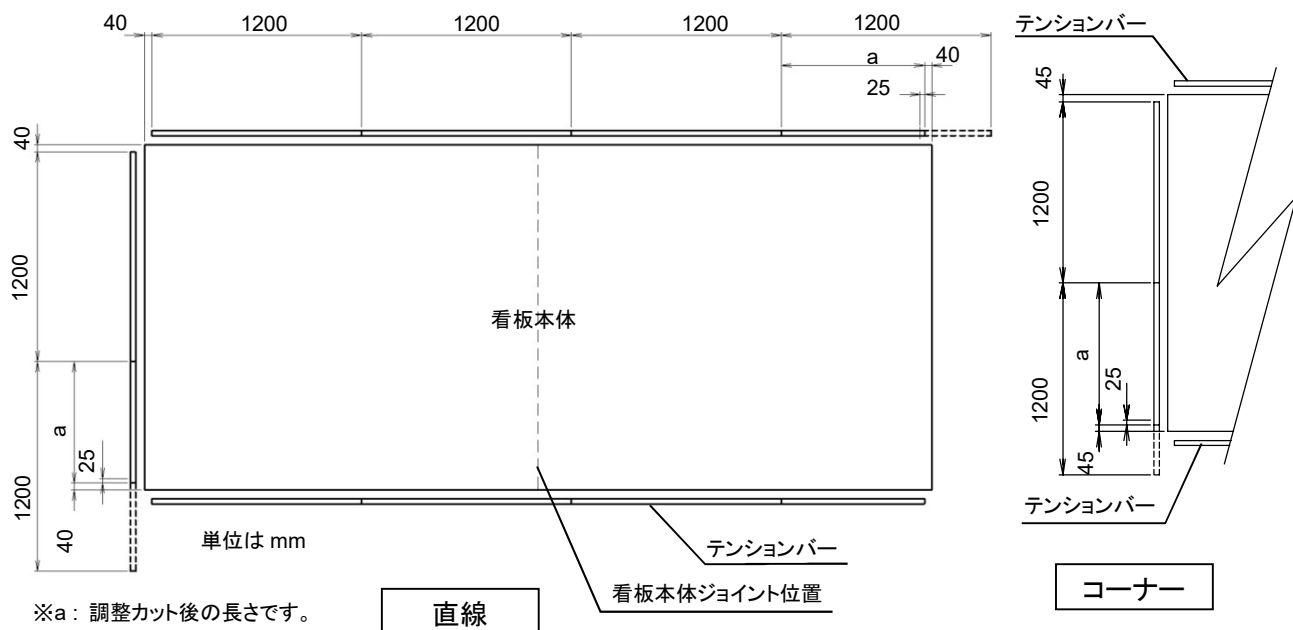
フレキシブルフェースの展張は、通常看板が壁面に取り付けられた状態で行います。

(コーナーユニット使用時は、開閉枠を外して行ってください。)

<b>❗ 確認</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テンションビス(4×25 ドリルネジ)の挿入は基本的に、下穴加工の必要はありませんが、挿入しづらい場合、ドリル(φ3 程度)にて下穴加工を行ってください。</li> </ul>
<b>⚠ 注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展張後の開閉枠をひねると、フレキシブルフェースがたわみ、シワの原因になります。</li> </ul>

### 4.1 テンションバーの準備

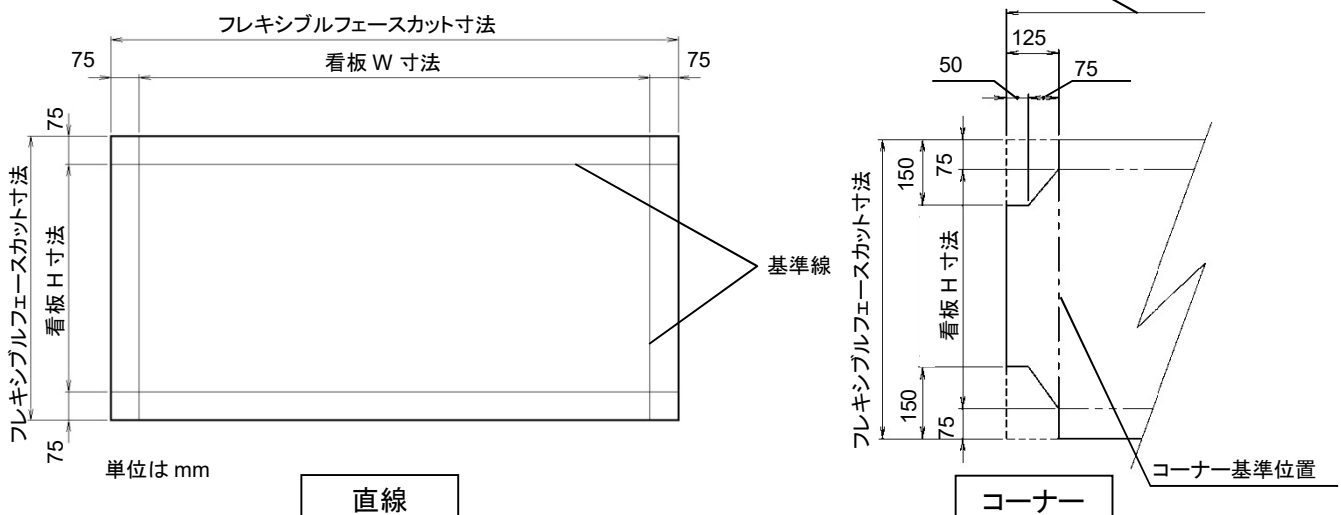
- 「テンションバー」は、1本 1200mm の長さの物が、必要本数用意されています。
- 「テンションバー」は、両端 40mm あけて全面を押えます。  
長さの調整は、両端 40mm あけてカットし、端から≒25mm の位置にφ 4.5 穴を追加してください。



### 4.2 基準線の線引き

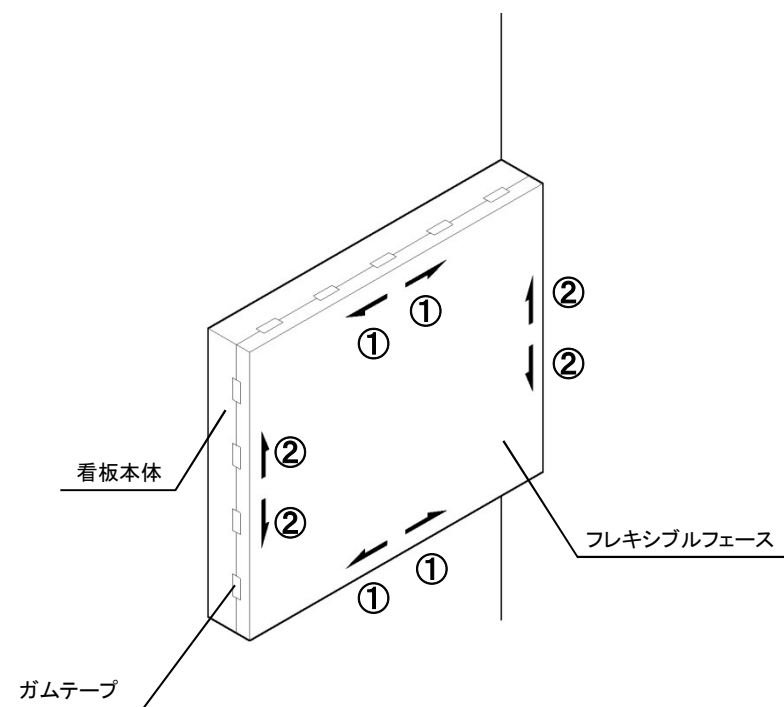
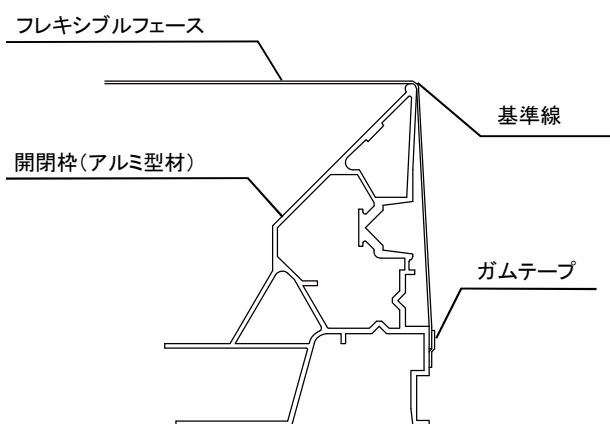
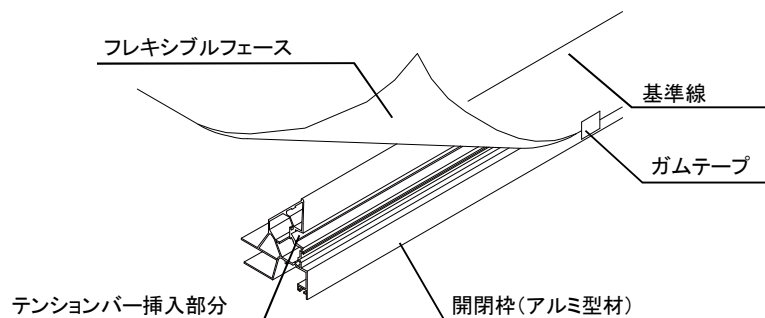
- フレキシブルフェースの端から周囲 75mm の位置が看板サイズ(基準線)となります。意匠の位置合わせおよび、テンショニング作業の目安のため、線引きをすることをお勧めします。

フレキシブルフェースカット寸法



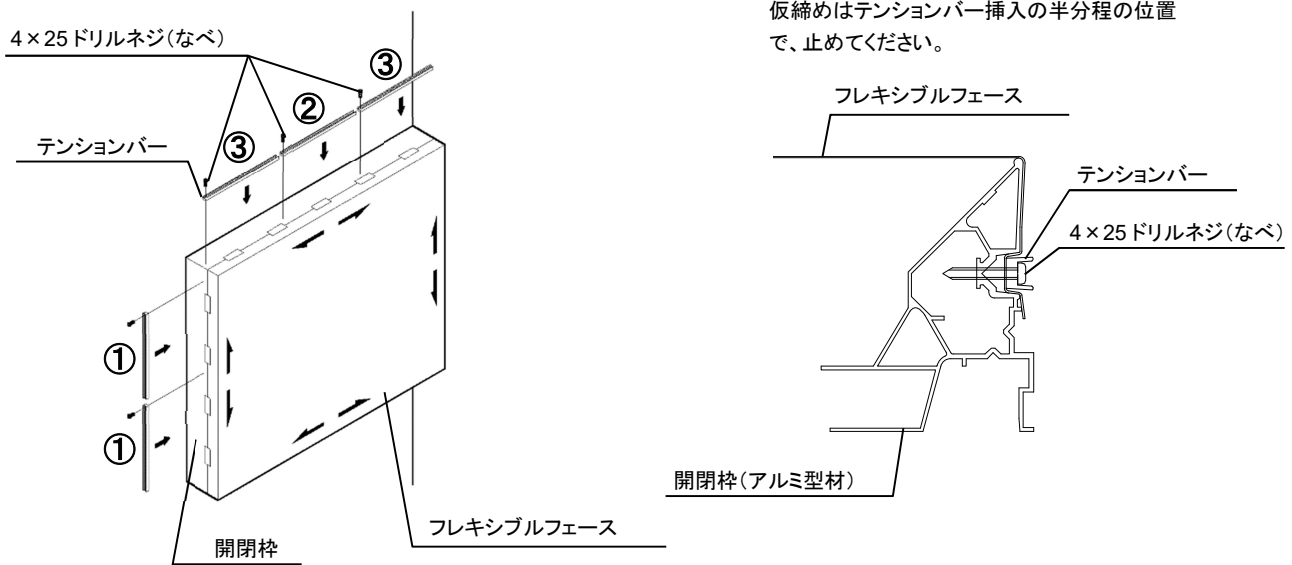
### 4.3 仮止め

- フレキシブルフェースを開閉枠に展開し、ガムテープで周囲を固定します。  
このとき、ガムテープがテンションバーの挿入部分にかからないようにしてください。



## 4.4 仮締め

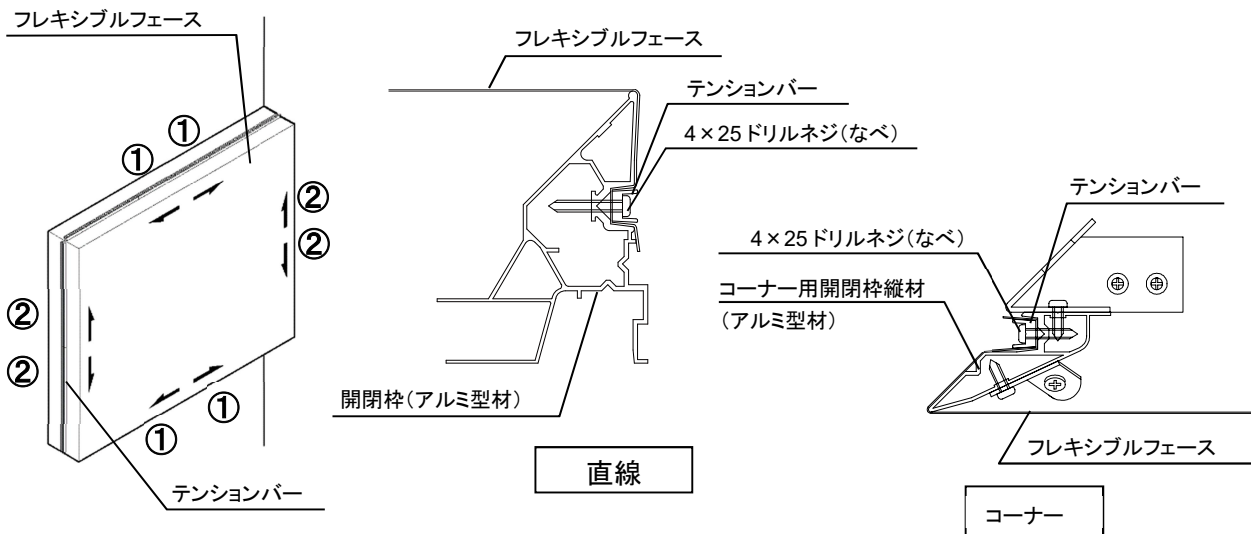
- テンションバーは、短辺側センターより両サイドへ向って、テンションビス(4×25 ドリルネジ)により仮締め作業を行います。長辺側も同様にセンターより両サイドへ向って行ってください。



仮締めはテンションバー挿入の半分程の位置で、止めてください。

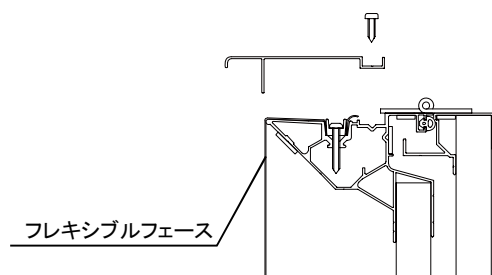
## 4.5 本締め

- テンションバーの、短辺側および長辺側のセンターより両サイドへ向って、しっかりとテンションビスを本締めし、テンションバーでフレキシブルフェースを固定してください。



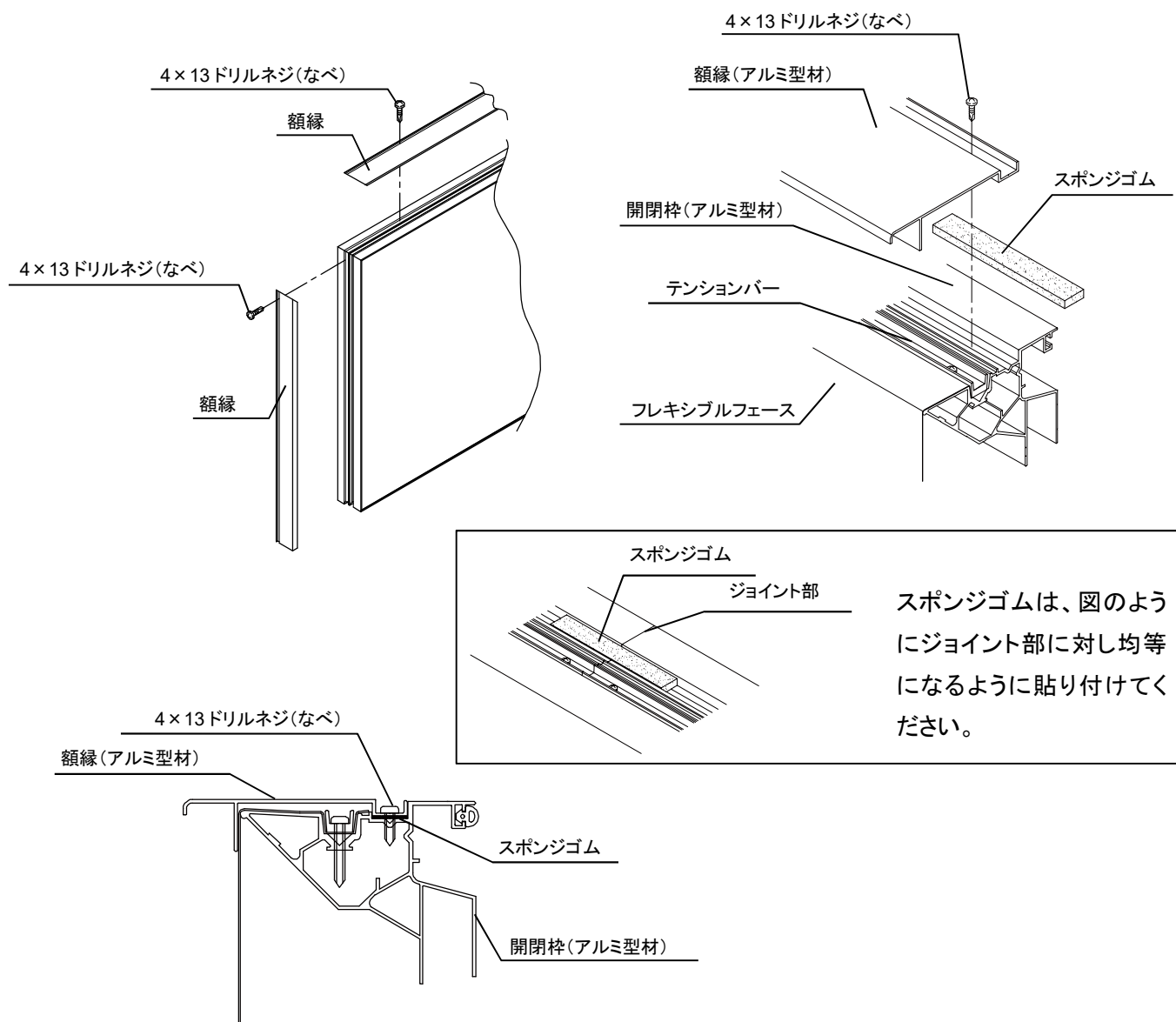
## 4.6 カット

- フレキシブルフェース展張後の端の余った部分は、額縁取り付けの際、額縁と開閉枠の間に挟み込まない程度の位置で、カッターナイフなどでカットしてください。






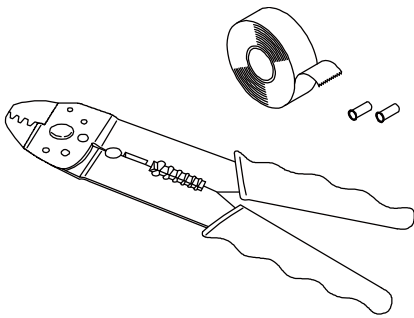
## 5 額縁の取り付け


- 額縁を、開閉枠の固定位置にセットし、4×13 ドリルネジ(なべ)を使用して取り付けてください。



## 6 結線

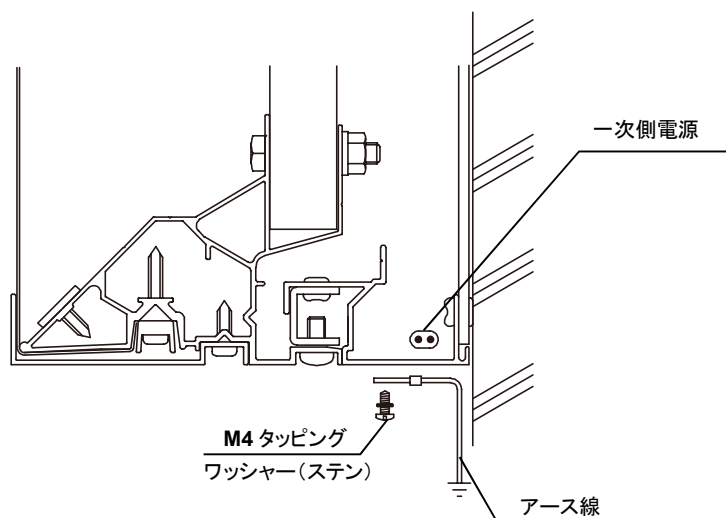
 警告	<ul style="list-style-type: none"> <li>結線工事は電気工事士の資格を持った技術者により、電気設備基準に準拠して行ってください。フレームから電線を出す場合、ゴムブッシングを使用し、電線の保護を行ってください。電線にキズを付けたり、挟み込んだ状態で使用すると、漏電・火災の原因となります。</li> </ul>
 確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>看板への給電は仕様書に基づき、専用の漏電ブレーカーを設置してください。看板側のトラブルが原因で、看板以外の電気製品に被害を与える場合があります。また、火災の原因にもなります。</li> </ul>
 確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>アースは必ず設置してください。</li> <li>結線終了後は必ず点灯、漏電のチェックを行ってください。</li> </ul>



 警告	<ul style="list-style-type: none"> <li>電線同士の接続は電線の絶縁面積にあったリングスリーブ等を使用し、必ず圧着ペンチで確実にかしめてから、絶縁テープを巻いて絶縁処理を行ってください。</li> </ul>
--	--

### 作業手順


1. 看板本体がジョイント式の場合、看板内部の結線および一次側電源の結線を行います。
2. 一次側電源を ON にし、点灯試験を行います。点灯しない場合は、必ず一次側電源を OFF にし、再度結線がされているか確認してください。
3. 電源コードがフレキシブルフェース面に接しないよう適所ごとに固定してください。
4. フレーム底面の適当な位置にアース端子接続用に M4 タッピングビス(ステンレス)を取り付け、アース線を使用しアースをとってください。

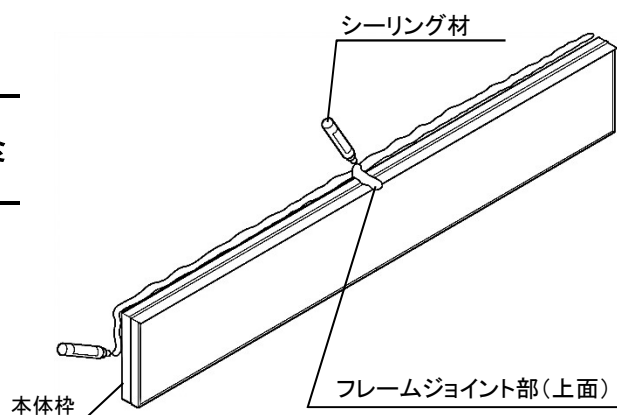


## 7 シーリング工事

### 作業手順

雨水浸入防止のため、躯体と本体枠(上面・側面)およびフレームジョイント部(上面)にシーリングを行ってください。




 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>シーリングが不十分な場合、雨水の浸入により本体内部の各部品を腐食させ、漏電の原因となります。</li></ul>
---	--



## 8 メンテナンスについて




### ■ LED の交換について

1. 下部ロックネジ(M5×10ビス(バインド))をゆるめ、開閉枠を開いてください。
2. 支持棒の先端を開閉枠裏面の支持棒受けへ差し込み、支持棒を固定してください。
3. LED を交換します。
4. 完了後、支持棒を収納し、開閉枠を閉じ、ロックネジ(M5×10ビス(バインド))で完全に固定してください。

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>メンテナンスを行う際は、電源器を切り、作業を行ってください。</li></ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>開閉枠の開閉作業を行う場合は、指などはさみ、ケガをする場合がありますので、十分に注意してください。</li></ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>作業中、支持棒が外れる可能性がありますので、支持棒へは必要時以外は触れないでください。</li></ul>



### ■ 清掃について

うすめた中性洗剤を含ませた、柔らかい布またはスポンジにより、表面の汚れを拭き取ってください。

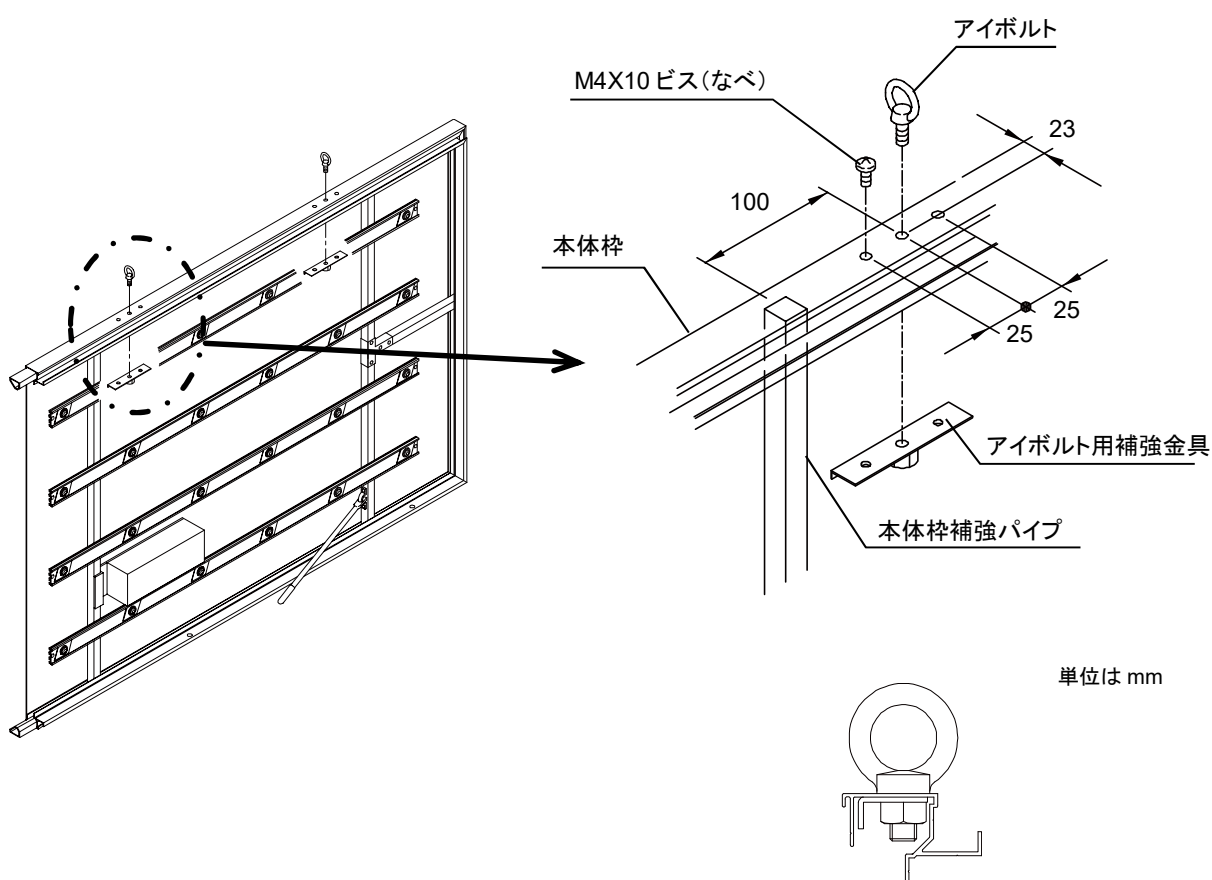
 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>フレーム内部には、直接水をかけないでください。漏電の原因となります。</li></ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>シンナーなどの溶剤は使用しないでください。</li></ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>開閉枠および本体枠の内部を清掃する場合は、必ず電源器を切って作業してください。</li></ul>

## 9 オプション品の使い方

### ■ アイボルトの取り付け

 警告	• アイボルトを使用するときは、必ず指定位置に取り付けてください。 吊り上げ時、本体枠の変形、破損、脱落の原因となります。
 警告	• 本体枠に必要以上の負担がかかるため、連結後の吊り上げはしないでください。

- アイボルト用の穴加工(φ12)、アイボルト用補強金具固定用穴加工(φ5)を行います。
- 取り付け位置は、本体枠補強パイプから 100mm の位置に取り付けてください。



●製品は改良のため、予告なしに仕様変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

●製造元

 **三和サインワークス株式会社**

東京営業部 東京都港区港南2丁目15-1 (品川インターシティ A棟 13F)

〒108-6013 TEL (03) 5783-3001(代) FAX (03) 5783-3010(代)

大阪営業部 大阪市北区梅田3-1-3 (ノースゲートビルディング 16F)

〒530-0001 TEL (06) 6453-3002(代) FAX (06) 6453-3022(代)

福岡営業所 福岡市博多区博多駅中央街7番21号 (紙与博多中央ビル 9F)

〒812-0012 TEL (092) 472-7277(代) FAX (092) 472-7278(代)

京都工場 京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字釜井谷 1-44

〒610-0261 TEL (0774) 99-7702(代) FAX (0774) 99-7712(代)

埼玉工場 埼玉県入間市宮寺字宮ノ台 4030 (武蔵工場団地内)

〒358-0014 TEL (04) 2934-5311(代) FAX (04) 2934-5313(代)

つくば工場 茨城県かすみがうら市加茂 5289-1

〒300-0198 TEL (029) 828-1615(代) FAX (029) 828-1289(代)

ホームページアドレス

<https://www.sanwa-signworks.co.jp/>

メールアドレス

[info@sanwa-signworks.co.jp](mailto:info@sanwa-signworks.co.jp)